

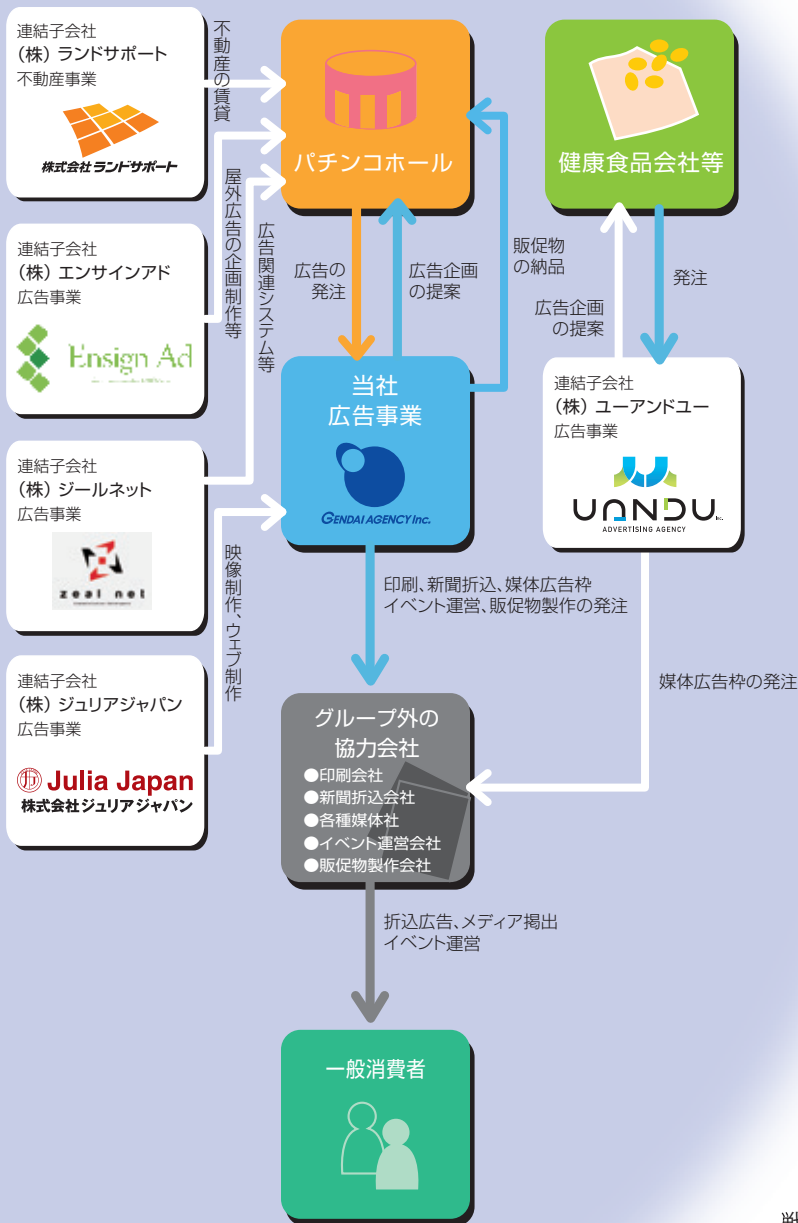
株主通信

2015年3月期 第2四半期

2014年4月1日～9月30日

ゲンダイエージェンシー株式会社

ビジネスモデル



グループ会社の概要

1. 広告事業

ゲンダイエージェンシー (株)

パチンコホールに特化した広告事業。折込広告、販促物、媒体などの企画制作

(株) ジュリアジャパン

各種映像制作、ウェブ制作などの企画制作

(株) ユーアンドユー

健康食品会社等を主要クライアントとする広告事業。広告の企画制作、媒体枠販売

(株) エンサインアド

屋外広告の企画制作、施工及び管理

(株) ジールネット

広告システム等の企画制作

2. 不動産事業

(株) ランドサポート

パチンコホールに特化した不動産の賃貸、仲介

基本理念

私達は、イノベーションと創造性に満ちた取り組みでクライアント企業の業績発展を支援する活動を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

ビジョン

1. 私達は、パチンコ業界をターゲットとした広告市場においてナンバーワンの企業を目指します。
2. 私達は、クライアント企業のコミュニケーション戦略を支援するために既存の広告事業の枠を超えた新しいアイデアやツールを開発、供給し続けていきます。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
ここに、2015年3月期第2四半期連結累計期間のご報告を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、政府の経済政策や金融緩和策により円安・株高が進み、景気回復の兆しが見られるものの、輸入物価の上昇を背景とした国内物価への上昇圧力や4月以降の消費税率の引き上げによる個人消費低迷の懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界では、消費税増税や建築費高騰などの影響により、パチンコホールのグランドオープン案件が減少するなど、盛り上がりには欠ける状況が続きました。

こうした環境下で、当社グループでは主力の広告事業において販売シェアを拡大していくため、取引顧客数のさらなる増加に向けて取り組むとともに、前期末に連結子会社化した、通販業界を主要顧客とする株式会社ユーアンドユー（以下、UU社）において、新たな体制と今後の営業戦略の構築を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,736百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は657百万円（同25.9%減）、経常利益は673百万円（同24.3%減）、四半期純利益は401百万円（同27.3%減）となりました。

以上の経営成績をふまえ、1株当たりの第2四半期末配当金は15円とし、お支払い開始日を2014年12月8日（月）とさせていただきます。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

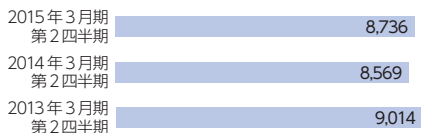


右： 代表取締役 CEO 山本 正卓
左： 代表取締役 COO 上川名 弦

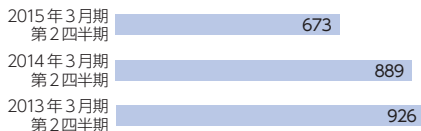
2014年12月

To Our Shareholders

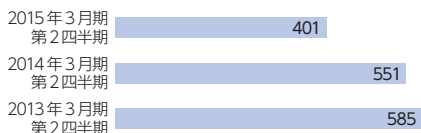
● **売上高（連結）** (単位：百万円)



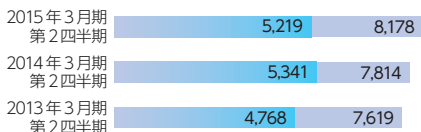
● **経常利益（連結）** (単位：百万円)



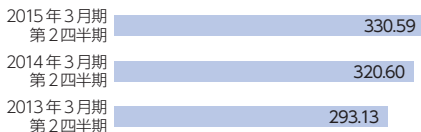
● **四半期純利益（連結）** (単位：百万円)



● **総資産額／純資産額（連結）** (単位：百万円)



● **1株当たり純資産額（連結）** (単位：円)



● **1株当たり四半期純利益（連結）** (単位：円)



※ 当社は2013年4月1日付で普通株式1株を200株に分割しております。
そのため2013年3月期第2四半期の数値は、当該株式分割に伴う影響を加味し、
遡及修正を行った場合の数値を記載しております。

広告事業

2015年3月期第2四半期連結累計期間のパチンコホール
広告市場は、2012年以来、継続している広告規制に伴う需要
の低迷に加えて、例年期待されるゴールデンウィーク前のパチ
ンコホールのグランドオープン件数が極端に減少いたしました。

これにより新店告知需要が大幅に減少し、また消費税増税
の影響の見極めのため、各ホール企業とも積極的な集客活動
を手控えた影響等も重なり、全体としての広告需要は期初の予
想以上に減少して推移いたしました。

こうした環境下において、当社は、取引顧客数のさらなる増
加に向けた広告提案活動を強化する一方で、デザイン業務の効
率化によるコスト削減に向けて取り組んでまいりました。

またUU社において、新たな体制と今後の営業戦略の構築を
進めてまいりました。

その結果、広告事業の売上高は、前期末に新規に連結した
UU社の売上高510百万円が寄与し、8,661百万円（前年
同期比2.3%増）となりましたが、主としてパチンコホール広告の
売上高減少に伴うマージン減少の影響により、セグメント利益
は848百万円（同19.6%減）となりました。

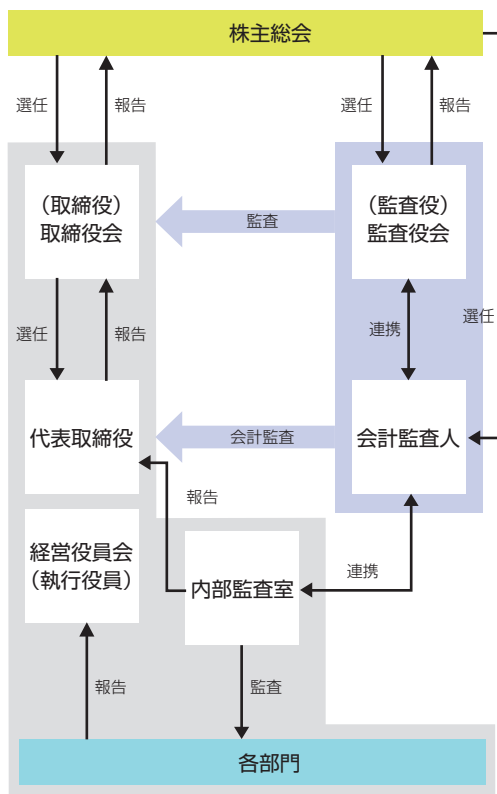
不動産事業

2015年3月期第2四半期連結累計期間においては、連結
子会社の（株）ランドサポートにおいて、既契約で継続中の2件
の賃貸案件のほか、賃貸物件仲介案件（仲介手数料売上合計
1百万円）を成約いたしました。

その結果、不動産事業の売上高は74百万円（前年同期比
24.8%減）、セグメント利益は29百万円（同14.9%減）とな
りました。



コーポレートガバナンス



基本的な考え方

当社のトップ・マネジメントは、株主価値の持続的な増大を図ることが最大の責務であると考えており、健全性（コンプライアンス）と透明性（ディスクロージャー）を確保しながら、常に株主の皆様の利益を念頭に置いた企業活動を実践することを行動規範としております。

取締役会について

法令および定款に定めのあるもの、ならびに会社経営の重要事項として取締役会規程に定めのある事項は、毎月1回以上開催される取締役会で決定しております。当社では常勤取締役が少人数であることから、日常における頻度の高いコミュニケーションが可能であり、また、社外取締役の選任による牽制効果と相まって効果的な業務執行の監視が可能な体制であると考えております。また、意思決定、経営監督と業務執行を分離し、責任の明確化を図ることを目的として執行役員制度を導入し、取締役会において選任された執行役員で構成される経営役員会において、綿密な審議と機動的な業務執行を行っております。

監査役会について

監査役は取締役会に常時出席しているほか、経営役員会をはじめとする社内の重要会議にも積極的に参加し、法令・定款違反や、株主利益を侵害する事実の有無について重点的に監査を実施しております。また、監査役会を定期的に開催し、監査に関する重要な事項について協議しております。



配当政策、トピックス

配当政策

当社は、今後のさらなる事業拡大を図るために必要な投資原資として、内部留保を充実させると同時に、これまでの経営活動の成果を株主の皆様へ明確な形で還元するため、業績に応じた配当を継続的に実施し、それにより中長期的な株主価値の最大化を図ることを基本方針としております。

目標連結配当性向は、キャッシュ・フローの状況などを勘案し、当面50%を目安として考えております。さらに資本効率の向上を重視し、適切なタイミングで自己株式の取得を実施してまいります。

トピックス

ファン向け パチンコ・パチスロ総合情報サイト 「パチ7(セブン)」を正式リリース

広告事業におけるパチンコホールのクロスメディア戦略支援のひとつとして、「パチ7」を2014年7月30日に正式にリリースいたしました。

人気ライターによる記事や店舗情報、自店舗の折込広告掲載に加え、パチ7が独自に運営する会員限定ポイントサービス「パチポイント」を実装し、店舗とファンをつなげるユニークなサイトを構築いたしました。

パソコン、スマートフォン(Android、iOS)からアクセス可能な、マルチメディア対応となっております。さらに、スマホアプリ「パチポイント」をインストールすると、ホール周辺でのチェックインや、「本日のデカチラシ」閲覧、オリジナルスロットゲームなどでパチポイントを獲得でき、サイト内でのイベントなどに使用することができます。

「パチ7」サイトURL: <http://pachiseven.jp/>

「パチ7」サイトQRコード



▲「パチセブン」トップページ

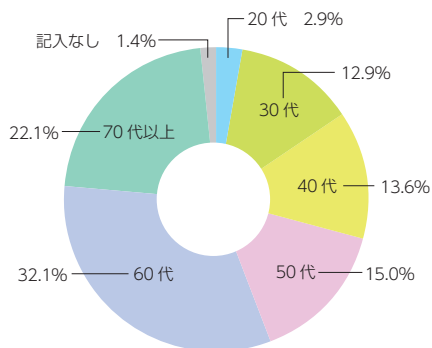


▲スマホアプリ「パチポイント」QRコード

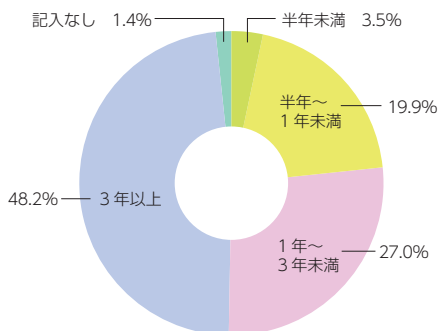


アンケート結果のご報告

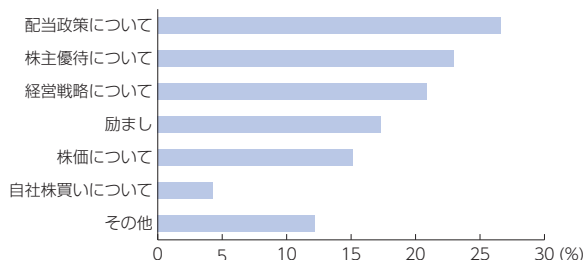
回答者属性



保有期間



ご意見・ご要望の傾向(フリーコメント)



2014年3月期株主通信アンケートより

当社では、株主の皆様とより一層のコミュニケーションを図るため、株主アンケートを行っております。前回の2014年3月期株主通信でお願いいたしました株主アンケートには、多くのご回答をいただき厚くお礼申し上げます。頂戴した貴重なご意見は、今後の経営に役立てるとともに、IR活動の参考にさせていただきます。

今後も、株主の皆様のご意見、ご要望を頂戴したく、アンケートを実施してまいりますので、その際はどうぞご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

主なご意見・ご要望(フリーコメント)

- 先の成長を目標として、株主や社会に貢献できる堅実な経営を推進されたい
- 隣接分野への事業領域拡大は賛成ですが、慎重かつ着実に成果をあげられるようお願いしたい
- 厳しい業界環境の中、積極的な姿勢、自社株買い、高配当といった株主への姿勢などを評価しており、今後にも期待しています
- 規制を含め環境厳しき昨今ですが、企業の総力と創意工夫の上、成長してください
- 連結配当性向45.1%は嬉しいです。これからも50%の目安をキープしてほしい

今後も、皆様からいただいたご意見を活かしながら、より良い会社経営に取り組んでまいります。

第2四半期財務諸表

① 資産合計 ←

主に納税、配当および自己株式の取得などにより現金及び預金が355百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して309百万円減少の8,178百万円となりました。

② 負債合計 ←

借入金（長期含む）が54百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して60百万円増加の2,959百万円となりました。

③ 純資産合計 ←

四半期純利益401百万円を計上する一方で、株主還元として自己株式の取得551百万円および利益配当232百万円を実施したことなどにより、前連結会計年度末と比較して369百万円減少の5,219百万円となりました。

第2四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

区分	当第2四半期連結会計期間 (2014年9月30日現在)	前連結会計年度 (2014年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	6,001	6,210
現金及び預金	3,448	3,804
受取手形及び売掛金	2,244	2,226
有価証券	100	—
繰延税金資産	26	29
その他	183	151
貸倒引当金	△ 1	△ 1
固定資産	2,176	2,277
有形固定資産	918	893
無形固定資産	321	259
投資その他の資産	937	1,124
① 資産合計	8,178	8,487
負債の部		
流動負債	2,220	2,601
支払手形及び買掛金	1,346	1,289
短期借入金	100	600
1年内返済予定の長期借入金	260	156
未払法人税等	256	318
その他	257	238
固定負債	738	296
長期借入金	720	270
資産除去債務	8	16
その他	10	10
② 負債合計	2,959	2,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	751	751
資本剰余金	1,063	1,063
利益剰余金	3,369	3,752
株主資本合計	5,184	5,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	5
その他の包括利益累計額合計	5	5
少数株主持分	28	15
③ 純資産合計	5,219	5,589
負債純資産合計	8,178	8,487

第2四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

区分	当第2四半期 累計期間 (自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日)
4 売上高	8,736	8,569
売上原価	6,774	6,522
売上総利益	1,962	2,047
販売費及び一般管理費	1,304	1,159
4 営業利益	657	887
営業外収益	22	7
営業外費用	7	4
経常利益	673	889
特別利益	—	1
特別損失	36	—
税金等調整前四半期純利益	637	890
法人税、住民税及び事業税	244	322
法人税等調整額	△ 0	19
法人税等合計	244	342
少数株主損益調整前四半期純利益	392	548
少数株主損失 (△)	△ 8	△ 2
4 四半期純利益	401	551

4 売上高・営業利益・四半期純利益

当社グループでは、主力の広告事業において取引顧客店舗数のさらなる増加に向けて取り組むとともに、前期末に連結子会社化した株式会社ユーアンドユーにおいて、新たな体制と今後の営業戦略の構築を進めてきました。その結果、売上高は前年同期と比較し2.0%増加の8,736百万円、営業利益は同25.9%減少の657百万円、四半期純利益は同27.3%減少の401百万円となりました。

5 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益637百万円を計上した一方で、前期決算に係る法人税等の納付額301百万円があったことなどにより、457百万円の収入(前年同期は451百万円の収入)となりました。

第2四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

区分	当第2四半期 累計期間 (自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	392	548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 0	1
その他の包括利益合計	△ 0	1
四半期包括利益	392	550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401	553
少数株主に係る四半期包括利益	△ 8	△ 2

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	当第2四半期 累計期間 (自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日)
5 営業活動によるキャッシュ・フロー	457	451
6 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 92	△ 205
7 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 729	△ 406
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 352	△ 157
現金及び現金同等物の期首残高	3,839	3,981
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,486	3,823

6 投資活動によるキャッシュ・フロー

主として有形固定資産の取得による支出79百万円があったことなどにより、92百万円の支出(前年同期は205百万円の支出)となりました。

7 財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式の取得551百万円、前期決算に係る期末配当金の支払232百万円があったことなどにより、729百万円の支出(前年同期は406百万円の支出)となりました。



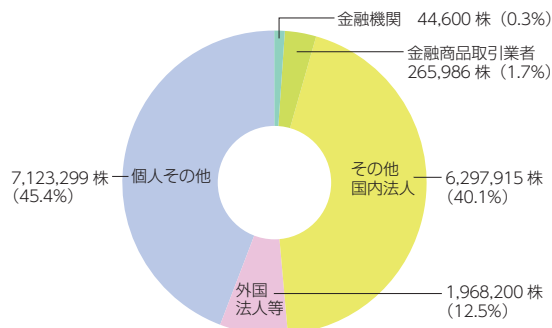
株式の状況

< 2014年9月30日現在 >

株式の状況

発行する株式の総数 66,400,000株
 発行済株式総数 15,700,000株
 株主数 5,165 人

所有者別株式分布状況



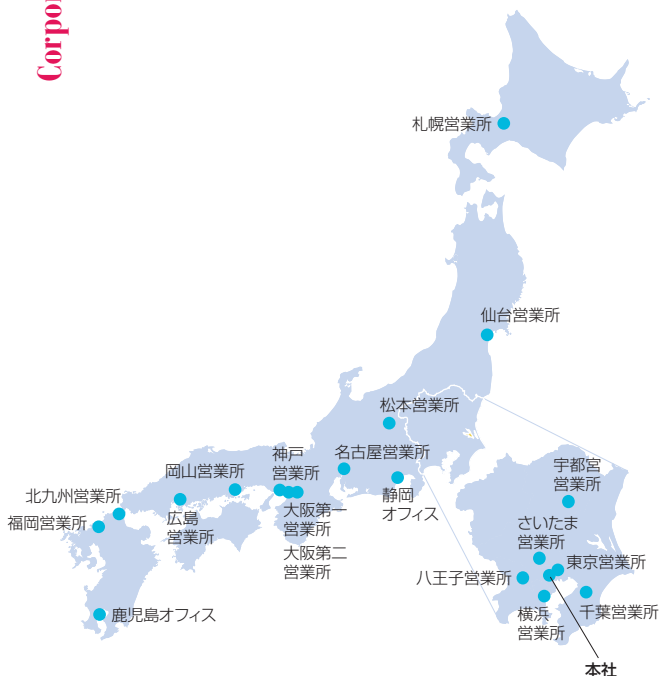
大株主

株主名	持株数(株)	%
1 アセット・マネジメント・アドバイザーズ(株)	5,180,000	33.0
2 ビービーエイチ ファイデリティ ピューリタン ファイデリティ シリーズ イントリンシツク オポチュニティズ ファンド 常任代理人 (株)三菱東京UFJ銀行	800,000	5.1
3 ジャパンプリント(株)	480,000	3.1
4 山本 正卓	386,400	2.5
5 ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー 505224 常任代理人 (株)みずほ銀行決済営業部	375,000	2.4
6 梅田 美智子	362,900	2.3
7 完山 敏錫	320,000	2.0
8 ゲンダイエージェンシー従業員持株会	282,700	1.8
9 翟 林瑜	193,500	1.2
10 (株)SBI証券	154,100	1.0



会社情報

< 2014年9月30日現在 >



会社概要

商号	ゲンダイエージェンシー株式会社 (GENDAI AGENCY INC.)
本社所在地	〒163-1429 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティビル 29F TEL: 03-5308-9888 (代) ※登記上の本店所在地は下記の通りです 東京都八王子市東町9-8
設立	1995年4月
資本金	7億5,159万1,776円
発行済株式総数	15,700,000株
業務内容	広告、宣伝に関する企画および制作
事業所	●本社、クリエイティブ本部 ●全国19営業拠点 (札幌、仙台、松本、宇都宮、東京、八王子、横浜、千葉、さいたま、静岡、名古屋、大阪第一、大阪第二、神戸、岡山、広島、福岡、北九州、鹿児島)
連結子会社	(株)ランドサポート、(株)ジュリアジャパン、(株)ユーアンドユー、(株)エンサインアド、(株)ジールネット

役員一覧

代表取締役 CEO	山本 正卓
代表取締役 COO	上川名 弦
取締役 CFO	高 秀一
取締役	木藤 友治
取締役	坂本 哲進
取締役(社外)	上 岳史
取締役(社外)	松崎 みさ
常勤監査役	安達 吉明
監査役	寺田 公規
監査役	東 徹
監査役	高野 健二

IR情報は当社のウェブサイトでもご覧いただけます



<http://www.gendai-a.co.jp/>

ゲンダイエージェンシー株式会社

東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティビル 29F
TEL: 03-5308-9888 (代表)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
一単元の株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務所取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同送付先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711
上場証券取引所	(株)東京証券取引所JASDAQ市場
公告方法	電子公告 ただし電子公告によることができない事故その他のやむをえない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	http://www.gendai-a.co.jp/
(ご注意)	1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社など）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

